

令和元年度第2回全国健康保険協会和歌山支部評議会議事録

令和元年度第2回全国健康保険協会和歌山支部評議会

開催日時：令和元年9月17日（火）14：00～16：00

開催場所：和歌山支部会議室

出席者：金川評議長、太田評議員、岡田評議員、貴多評議員、小牧評議員、嶋本評議員、中村評議員（評議員五十音順）

令和元年9月17日に令和元年度第2回全国健康保険協会和歌山支部評議会を開催し、評議員9名中7名が出席、その概要は下記の通りです。

議題

1. 令和2年度支部保険者機能強化予算の事業（案）の検討について
2. その他報告事項等

議題1. 令和2年度支部保険者機能強化予算の事業（案）の検討について

事務局より令和2年度支部保険者機能強化予算の事業（案）の検討について、資料に沿って説明。

主な意見・質問

（被保険者代表）

バスの広告は既に今年度からやっているのか。何か経済効果など協会として感じている点はあるか。

（事務局回答）

今年度から行っている。効果としてはアンケートを取り、数パーセントの方からはバスの広告をご覧いただいていると聞いている。バスの車両側面広告では多面的な広告を行い、短期間ではなく一定の期間行なって浸透させていった方が全体的な効果は表れるのではないかと考えている。

（被保険者代表）

ジェネリックというものがどのくらい浸透しているのか、メリットやデメリットは何かなどを考えていくと、確かにジェネリックという言葉をよく耳にするが、まだ知らない部分がある。県民性も若干あるかもしれないが、「ジェネリックに切り替えよ」と言われても実際に自分が切り替えようと思うと、なかなか一歩前に出ない。

そのような状況を踏まえ、ジェネリックのメリット等を講演会の時に話をしてみるなどの働きかけをするとともに、若い人にジェネリックが浸透していないということだったが、今の若い人は基本的に紙ベースのものは見ないので、LINEなどのツールをもう少し入れてみてはいかがかと思う。

(事務局回答)

様々な媒体を探っている最中だが、年齢層によって見る媒体が異なるため、どの世代をターゲットにしていくのか定めることがまずは第一かなと考えている。

(事業主代表)

確かに若い世代はスマホで何でも分かる時代なので、紙ベースでは見ないが、ターゲットを40代以上にした場合には新聞等の紙ベースの広告を見る世代なので、バスの車両側面広告は見るかなと思う。例えば、大病院の中に広告を掲示したりするのはできないか。

(事務局回答)

ポスターなど、こちらからお願いして貼っていただける病院には貼っていただいている。また、病院の待合室でスマートフォンを触る方が非常に多いので、ヤフーなどのポップアップ広告で協会の広告を出すなども検討してみたいと思う。

病院に行っている方にジェネリックの事を知っていただきたく、タイムリーな発信が必要と考えている。

(被保険者代表)

ジェネリックは10歳~18歳の若年層に使用率が低いということだが、この年代をみると、自分で病院に行くことはなく親と一緒にいくことが多いため、親世代にどう伝えていくかが重要だと思う。例えば、0歳~4歳の親であれば乳児健診や乳児の説明会の際にジェネリックの魅力を伝えていけば効果的かなと思う。

自分もそうだが、なかなかジェネリックにしてとは言えない。黙っていると、病院任せになってしまう点をもう少し改善できたらと思う。

(学識経験者)

保険証に貼るジェネリックの希望シールは全員に配られているわけではないのか。

(事務局回答)

保険証の発行時に同封など幅広く配付しているが、すべての人という訳ではない。

(学識経験者)

バスの車体側面などの目で見える広告は見ない人もいるが、音であれば否応なしにインプットされるので、すごく効果があると思う。

(事務局回答)

音声での広報も効果的と考えており、今後ラジオ放送の広報も検討していきたい。

(被保険者代表)

ジェネリックをまだ使用したことが無い人に向けて、切り替えた場合には、こんなメリットがありますよという形の広報が出来ないか。

(事務局回答)

支部単位になるが、ジェネリック医薬品軽減額通知をお送りした方でどのくらい効果が出ているのかという指標は出せる。

(事業主代表)

ジェネリックへの切り替えについては、医師がポイントなのではないか。

(事務局回答)

そのとおり、医師の処方によるところもある。症状などに応じてジェネリックが不可の場合もある。

(被保険者代表)

最初から保険証にジェネリックの希望シールを貼って送るとか、印刷することはできないのか。ジェネリックを希望されない方は、希望しない旨のシールを貼るなど、今までと逆転の発想で働きかけをしてみてもどうか。最初からジェネリック希望シールが貼ってあれば、何もしない方は基本的にはジェネリック希望ということになり、ジェネリックの処方が増えるのではないか。

(事務局回答)

保険証に印刷は難しいが、斬新な発想で考えていきたい。

(学識経験者)

やや強引なやり方かもしれない。

(事業主代表)

患者がジェネリックを希望していて、医師がジェネリックは使用できないと言えるのか。

(事務局回答)

患者の状態・病状に応じて医師がジェネリック使用不可とすることができる。

(事業主代表)

バスの車両広告はバスの中ではなく、外側での広報が費用対効果は高い。また、広報の文言は年配の方にも分かりやすいものにし、バスの車内放送も知恵を働かせた広報を行うとだいぶ違うと思う。

また、通行量の多い箇所では野立ての看板を掲示するなど、目立つ広告を出すのも良い。イベントを行う場合は、開催会場の中でも人通りの一番多い場所で行った方がいいのではないだろうか。

(事務局回答)

今後イベント等を行う際には人通りの多い場所で測定器などを設置し、ジェネリックのPRなども検討していきたい。

(学識経験者)

広報記事に二次元コードを付けないのか。申し込み先などをメモすることが嫌だと思ってしまう。また、若い世代だと二次元コードを読み込むことに抵抗がなく、電話をかけない世代なので、申し

込み自体もウェブ上でできるようにした方が申し込み数は増えるのではないだろうか。

（事務局回答）

二次元コードを付けている時もある。申し込みについては締切間際まで受付をしたいと考えているため、電話での受付も行っている。

（被保険者代表）

商工まつりの集団健診はどのくらいの所要時間がかかるのか。もし、短時間で済むのであれば広報に短時間で健診が受診できる旨を記載したらいかがか。

（事務局回答）

昨年は特典として用意したAGE測定や骨密度測定に多少時間がかかり、1時間～1時間半程度かかった。しかし、今年度は一人あたり1時間以内で回転しているので、その点もアピールポイントとして今後広報していけると思う。

（被保険者代表）

申し込みの時点で時間の指定はできるのか。

（事務局回答）

健診当日の混雑防止のため、受診時間を健診機関が指定して、案内する。どうしても指定した時間での受診が困難な方は、受付時間内で受診していただけるよう対応している。

（被保険者代表）

どのような検査項目があるのか。

（事務局回答）

血圧、血液、尿、身体検査の項目になり、がん検診が含まれていないため、内容としては寂しいという加入者からの声があり、特典として様々な無料測定や有料のオプション検査をご用意している。

（事業主代表）

和歌山市の健康寿命延伸などの取組との連携は、何かされているか。

（事務局回答）

扶養家族に対する特定健診と市のがん検診の同日実施にご協力いただいている。検査項目が少ない特定健診とがん検診が同時に受診できることが一番のメリットである。

また、来年度からの新規事業として企画している「特定保健指導と歯科検診事業」においては、県の歯科医師会様との連携を予定している。

（学識経験者）

個人的には、「この案内を見たら得ですよ」と書かれた案内が届いたら開けてしまうタイプなので、誇大広告にならないのであれば、広報としていいのではないか。

(事業主代表)

新規で行う「特定保健指導と歯科検診」については、やってみないと分からない点があると思うので、一度やってみてもいいかと思う。

議題2. その他報告事項等

事務局よりその他報告事項等について、資料に沿って説明。
○インセンティブ制度にかかる平成30年度の実績について

主な意見・質問

(被保険者代表)

指標4について、福井県と佐賀県は、なぜインセンティブの上位になっているのか。

(事務局回答)

佐賀県は医療機関が多く、医師の受診勧奨が熱心であるようで、病院を受診している方が多いと聞いている。

全国的に30年度の受診勧奨の成績が下がっていた傾向があり、29年度の受診率が低かった支部は伸びたという点が偏差値に影響したと考えている。

(被保険者代表)

ジェネリックについて九州と東北の成績がいいのは、何か原因はあるのか。地域的な差や医師会との連携など取られているのか。

(事務局回答)

医師会との連携がよくできているのは福井県と聞いている。東北の成績がいいという点に関しては原因がつかめていないが、和歌山県内でも地域により使用割合に差があることから、地理的な問題でジェネリックの普及が進んでいないことも考えられる。

事務局より、次回評議会は10月開催予定である旨、連絡を行う。

評 議 長 _____

議事録署名人 _____